

調査計画

1 調査の名称（☐特定一般統計調査 ☒その他の一般統計調査）

退職公務員生活状況調査

2 調査の目的

国家公務員の定年退職後における就業の状況（暫定再任用、民間企業等への再就職など）及び収入・支出等の生活状況を把握することにより、今後の高齢期雇用等の在り方や職員の生涯設計に関する施策等を全般的に検討するための基礎資料を得ることを目的とする。

3 調査対象の範囲

（1）地域的範囲（☒全国 ☐その他）

（2）属性的範囲（☒個人 ☐世帯 ☐事業所 ☐企業・法人・団体 ☐地方公共団体 ☐その他）

一般職国家公務員で、令和4年度末に60歳で定年退職した者及び令和4年度に60歳に達し令和5年7月31日までの間に勤務延長した後に退職（以下単に「定年退職」という。）した者

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

（1）報告者数

約7,000人（行政機関：約6,800人、行政執行法人：約200人）

（2）報告者の選定方法（☒全数 ☐無作為抽出（☐全数階層あり） ☐有意抽出）

各行政機関及び各行政執行法人から提供を受けた定年退職者のデータにより作成した対象者名簿を用いる。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

（1）報告を求める事項

ア 基本的事項

定年退職時の適用俸給表、現在の居住地

イ 定年退職後の就労希望状況に関する事項

① 就労希望の有無

② 働きたいと思った理由

③ 何歳まで働きたいと思ったか

④ 働きたいと思った勤務形態

ウ 現在の就労状況に関する事項

① 就労状況

② 就労していない場合の理由

③ 短時間勤務となった事情、1週間当たりの勤務時間

④ 就労している場合の就労先

⑤ 暫定再任用後の適用俸給表

⑥ 暫定再任用を希望した理由

⑦ 暫定再任用に伴う転居の状況、転居した理由

⑧ 暫定再任用の評価

⑨ 暫定再任用という働き方の課題や問題点

⑩ 暫定再任用を希望しなかった理由

⑪ 現在の職種

⑫ 仕事を探すために用いた方法

⑬ 現在の仕事に結びついた方法

エ 家族、家計に関する事項

① 世帯の人数、世帯の構成

② 世帯の1か月当たりの平均的な収入

③ 世帯の1か月当たりの平均的な支出、住居の種類

④ 世帯の家計の状況、家計がマイナスとなる場合の対処方法

⑤ 退職手当の使用予定

オ その他

① 定年退職後の生活や生涯設計について実際に考えるようになった時期、考え始めるべきだったと思う時期、考えるに当たって利用したもの

② 今後の生活で気にかかることや、不安に思うこと

③ 定年退職前にもっと知っておけば良かったと思うこと

④ 調査回答方法に関して

(本調査には、定年退職後の就労希望など、意識等に関する事項も含まれる。詳細は調査票を参照)

[集計しない事項の有無] ☐無 ☒有

調査回答方法に関しては、今後の調査実施方法の検討のために把握するものであり、集計は行わない。

(2) 基準となる期日又は期間

令和5年9月1日現在

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

人事院一報告者

(2) 調査方法

☒郵送調査 ☒オンライン調査 (☐政府統計共同利用システム ☐独自のシステム ☒電子メール)

☐調査員調査 ☐その他 ()

〔調査方法の概要〕

郵送、人事院ホームページに掲載されている調査票を報告者がダウンロード、各府省の協力を得て報告者に調査票をメールで送付のいずれかの方法により調査票を配布し、原則としてオンラインにより回答を求める。ただし、郵送による回答も可とし、自計報告の方法で行う。電子メールの受信に当たっては、調査票情報が保存されているファイルに対して、パスワードを設定したセキュリティ対策を講ずることとする。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

☐1回限り ☐毎月 ☐四半期 ☐1年 ☐2年 ☐3年 ☐5年 ☒不定期 (おおむね3年) ☐その他 ()

(1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年：令和2年)

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

令和5年9月1日から同年10月10日まで

8 集計事項

別添「集計事項一覧」のとおり

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表・非公表の別 (☒全部公表 ☐一部非公表 ☐全部非公表)

(2) 公表の方法 (☒e-Stat ☐インターネット (e-Stat以外) ☐印刷物 ☐閲覧)

(3) 公表の期日

令和6年3月を目途に公表する。

10 使用する統計基準等

☐使用する→☐日本標準産業分類 ☐日本標準職業分類 ☐その他（ ）

■使用しない

本調査は退職公務員を対象とする調査であり、調査対象範囲の画定及び集計結果の表示に統計基準を用いる余地がないことから、いずれの統計基準も使用しない。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 保存期間

記入済み調査票：調査実施の翌年の4月1日から起算して1年

調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：永年

(2) 保存責任者

人事院事務総局給与局生涯設計課長

(別添)

集計事項一覧

表名	標題
(基本的事項)	
第 1 表	定年退職時における給与制度の適用区分・適用俸給表別人数及び人数割合
第 2 表	現在の居住地別人数及び人数割合
(定年退職後の就労希望状況)	
第 3 表	定年退職後の就労希望の有無別人数及び人数割合
第 4 表	定年退職後も働きたいと思った理由別、何歳まで働きたいと思ったか別人数及び人数割合
第 5 表	定年退職後も働きたいと思った理由別、働きたいと思った勤務形態別人数及び人数割合
(現在の就労状況)	
第 6 表	居住地別、定年退職後の就労希望の有無別、現在の就労の有無・就労先別人数及び人数割合
第 7 表	居住地別、現在の就労先別、就労先における勤務形態別人数及び人数割合
第 8 表	居住地別、仕事に就いていない理由別人数及び人数割合
第 9 表	現在の就労先別、短時間勤務となった事情別人数及び人数割合
第 10 表	現在の就労先別、勤務時間別人数及び人数割合
第 11 表	居住地別、現在の就労先における勤務形態別、暫定再任用後の給与制度の適用区分・適用俸給表別人数及び人数割合
第 12 表	居住地別、暫定再任用を希望した理由別人数及び人数割合
第 13 表－ 1	居住地別、現在の就労先における勤務形態別、暫定再任用に伴う転居の状況・理由別人数及び人数割合
第 13 表－ 2	居住地別、転居の理由別、暫定再任用に伴う転居の状況別人数及び人数割合
第 14 表	居住地別、現在の就労先における勤務形態別、暫定再任用についての評価別人数及び人数割合
第 15 表	居住地別、現在の就労先における勤務形態別、暫定再任用という働き方の課題や問題点別人数及び人数割合
第 16 表	居住地別、暫定再任用を希望しなかった理由別人数及び人数割合
第 17 表	居住地別、現在の就労先・就労先における勤務形態別、現在の職種

別人数及び人数割合

- 第 18 表－ 1 仕事を探すために用いた方法別、現在の就労先別人数及び人数割合
 第 18 表－ 2 現在の仕事に結びついた方法別、現在の就労先別人数及び人数割合

(家族、家計の状況)

- 第 19 表 就労状況・就労先・勤務形態別、世帯構成類型別人数及び人数割合
 第 20 表 居住地別、就労状況・就労先・勤務形態別、世帯の平均収入月額
 の項目別金額及び金額割合並びに居住地別、世帯構成類型別、世帯の平均収入月額の項目別金額及び金額割合
 第 21 表 居住地別、就労状況・就労先・勤務形態別、本人の平均収入月額の金額階層別人数及び人数割合並びに居住地別、世帯構成類型別、本人の平均収入月額の金額階層別人数及び人数割合
 第 22 表 居住地別、就労状況・就労先・勤務形態別、世帯の平均支出月額の項目別金額及び金額割合並びに居住地別、世帯構成類型別、世帯の平均支出月額の項目別金額及び金額割合
 第 23 表 居住地別、就労状況・就労先・勤務形態別、世帯の平均収支月額の金額階層別人数及び人数割合並びに居住地別、世帯構成類型別、世帯の平均収支月額の金額階層別人数及び人数割合
 第 24 表 居住地別、就労状況・就労先・勤務形態別、住居の種類別人数及び人数割合、居住地別、世帯構成類型別、住居の種類別人数及び人数割合並びに居住地別、世帯の平均収支月額の金額階層別、住居の種類別人数及び人数割合
 第 25 表 居住地別、就労状況・就労先・勤務形態別、世帯の家計の状況別人数及び人数割合、居住地別、世帯構成類型別、世帯の家計の状況別人数及び人数割合並びに居住地別、世帯の平均収支月額の金額階層別、世帯の家計の状況別人数及び人数割合
 第 26 表 居住地別、就労状況・就労先・勤務形態別、家計がマイナスとなる場合の対応別人数及び人数割合、居住地別、世帯構成類型別、家計がマイナスとなる場合の対応別人数及び人数割合並びに居住地別、世帯の平均収支月額の金額階層別、赤字が出る場合の対応別人数及び人数割合
 第 27 表 居住地別、就労状況・就労先・勤務形態別、退職手当の使用用途別人数及び人数割合、居住地別、世帯構成類型別、退職手当の使用用途別人数及び人数割合、居住地別、世帯の平均収支月額の金額階層別、退職手当の使用用途別人数及び人数割合、居住地別、就労状況・就労先・勤務形態別、退職手当の使用用途別使用予定割合、居住地別、世帯構成類型別、退職手当の使用用途別使用予定割合並びに居住地別、

世帯の平均収支月額の金額階層別、退職手当の使用用途別使用予定割合

(その他)

第 28 表	就労状況・就労先・勤務形態別、定年退職後の生活や生涯設計について考えるようになった時期別人数及び人数割合
第 29 表	就労状況別・就労先・勤務形態別、定年退職後の生活や生涯設計について考え始めるべきだったと思う時期別人数及び人数割合
第 30 表	就労状況・就労先・勤務形態別、定年退職後の生活や生涯設計について考えるに当たって利用したもの別人数及び人数割合
第 31 表	就労状況・就労先・勤務形態別、今後の生活で気にかかることや、不安に思うこと別人数及び人数割合
第 32 表	就労状況・就労先・勤務形態別、定年退職前にもっと知っておけば良かったと思うこと別人数及び人数割合